

多度地区小中一貫校整備事業 第12回開校準備委員会 会議概要

開催日時 令和6年3月20日(水・祝) 10:00~11:30

出席委員 25名中 17名

1. 開会

(1) 経過報告

- ・地域連携部会より経過報告
- ・教育指導部会より経過報告

2. 議事

(1) 多度学園 校歌の作成について

委員長：多度学園の校歌の作成について、その後事務局でいろいろ調整する中で、従来想定していた内容と変わってくることもある。そのあたりを説明させていただきたい。

まず、歌詞案については、私から説明させていただきたい。

前回の開校準備委員会で、歌詞案を議論していただき、方向は決まったが、一部、2番のところについて最終結論が出ておらず、委員長預かりとなっていた。その部分について、皆さんの意見をもう一度思い返しながらいろいろ考えた。様々なお子さんたちがみえることは十分考慮したうえで、『学びの坂をかけ上がり』という歌詞フレーズで決定させていただきたい。多度学園で色々な学びを経験する中で、子どもたちには、多様な関りを大切にしてもらい、設計のコンセプトの中にもある、つながり、思いを一つにし、目標に向かって共にかけ上がってほしい、こういうような思いで決めた。走るというような意味合いではなく、目標に向かってみんなで思いをはせて、課題を達成するために気持ちを奮い立たせよう、というような勢いも含めている。委員長として、このような願いを込めて決定させていただく。よろしくご理解いただきたい。

委員：(うなづく)

委員長：では、メロディの作成手順については、事務局から説明をお願いしたい。

事務局：(説明)

【 超校歌プロジェクトからの、「メロディ作成について」の動画を視聴 】

委員長：動画の中で、メロディ作成段階での子どもたちの参加、という提案があった。この点について、皆さんに一度確認したい。子どもたちが参加するということを同意いただけるか。

委員：(不同意なし)

委員長：ありがとうございます。

詳細については、次回以降の提案となるが、子どもも関わる手順で進めることにしたい。動画で説明があったように、日本の新しい学校文化を先進的に進めていく、世界で初めての試みとなる。理化学研究所のチームが開発中の生成AIは、ポンと完成品を出すのではなく、AIと人がやり取りしながら作曲するというのを模索しているようであり、それらの整備等に時間を要していると理解した。最終的には音楽専門家の皆さんたちが一丸となって、最

後まで責任を持って完成させてくれると聞いている。それらの過程で、皆さんのご意見をお伺いすることもあるが、いい校歌ができるのではないかと考えている。引き続き、よろしくお願ひしたい。

本日の議事はここまでである。

3. 現地視察

事務局：(現地視察について説明)

委員：(現地視察へ移動)

4. 閉会

(現地視察後解散)

(以上)